

4-1 表示設定ユニットの表示

自動ロギングとは

- 計測した電力量またはパルス量を、1時間ごと(測定間隔)に集計し、「月別」・「日別」・「時間別」の期間別で見られるようにする機能です。
- 本機能は、いったん計測を開始(41頁)すれば、以後はデータを収集し続けます。
- 本体ユニット内部メモリーに蓄積できるデータ量は、自動ロギングデータの場合、「月別」では最新3年分、「日別」では最新1年分、「時間別」では最新65日分です。詳細ロギングデータの場合は最新24時間分です。
- 計測したデータは、表示設定ユニットで閲覧したり、上位ソフトにデータを送信することができます。
- 「月別」・「日別」の期間について、期間の始まり日時(集計日時)を任意に設定することができます。(下記参照)
- SDメモリーカードへは、自動ロギングデータの「日別」・「時間別」データと、詳細ロギングデータを書き込むことができます。(47頁)
- SDメモリーカードへの書き込みは、自動で定期的に行います。
- SDメモリーカード挿入時に書き込まれるデータ量は、自動ロギングデータの「日別」・「時間別」では最大2ヵ月分、詳細ロギングデータでは最大24時間分です。
- SDメモリーカードを常時挿入していると、データを書き込み続け、SDメモリーカードの空き容量があるかぎり書き込むことができます。(1ヵ月のデータ容量は、約60MB：グループ設定「有効」時)
- SDメモリーカードの空き容量不足の場合は、SDアクセスLEDが点滅し、書き込みエラーとなります。(47頁)

■集計日時設定の目的

- 「月別」電力量・「日別」電力量(45頁)、「月別」パルス量・「日別」パルス量(45頁)を見る際の期間の始まり日時(集計日時)を設定します。
- 「月別」は、設定された集計日時から1ヵ月間の期間です。
- 「日別」は、設定された集計日時から1日間の期間です。
- 工場出荷時は、集計日時が「31日・24時」に設定されています。

⚠️ ご注意

- 使用中に「集計日時の変更」を行うと月別データの締め時間が変更されるため前月データが消去される場合があります。使用中に集計日時を変更する場合は、SDメモリーカードなどで計測データのバックアップをとってから行ってください。
- 「集計日時の変更」は表示機能のみのため、表示ユニットでの確認はできませんが、SDカードには出力できません。

●「月別」データの集計期間について

集計日時の設定値	5月	6月	7月
日付：31日 時間：24時 (出荷時の設定)	5月01日 5月31日 00:00:00 ~ 23:59:59	6月01日 6月30日 00:00:00 ~ 23:59:59	7月01日 7月31日 00:00:00 ~ 23:59:59
日付：17日 時間：06時	5月17日 6月17日 06:00:00 ~ 05:59:59	6月17日 7月17日 06:00:00 ~ 05:59:59	7月17日 8月17日 06:00:00 ~ 05:59:59

●「日別」データの集計期間について

集計日時の設定値	16日	17日	18日
日付：31日 時間：24時 (出荷時の設定)	16日 16日 00:00:00 ~ 23:59:59	17日 17日 00:00:00 ~ 23:59:59	18日 18日 00:00:00 ~ 23:59:59
日付：17日 時間：06時	16日 17日 06:00:00 ~ 05:59:59	17日 18日 06:00:00 ~ 05:59:59	18日 19日 06:00:00 ~ 05:59:59

ご注意

- 月により日数が異なるため、集計日時の設定日が存在しない場合は、その月の最終日に前倒しされます。集計日時を29~31日に設定する場合は、ご注意ください。

日常使うときの手順

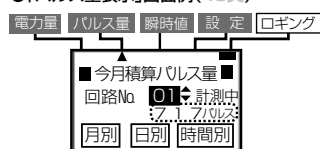
■「月別」・「日別」・「時間別」のデータ(自動ロギングデータ)を見るには

- 電力量とパルス量のデータを確認することができます。
- いったん計測を開始(41頁)すれば、常に確認することができます。
 - 自動ロギングデータは自動で計測されますので、設定の必要はありません。
 - データは、SDメモリーカードに保存して、別途お手持ちのパソコンなどで見ることができます。(47頁)

●「電力量表示」画面例(45頁)



●「パルス量表示」画面例(45頁)



■分単位のデータ(詳細ロギングデータ)を見るには

- 電流、電圧、電力、電力量、パルス量のデータを確認することができます。
- より詳細なデータが必要なときに使用します。
 - データは、SDメモリーカードに保存して、別途お手持ちのパソコンなどで見ることができます。(47頁)

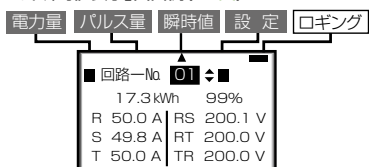
●1分単位のCSVファイル例

分単位のデータは、下記のように表示されます。

年	月	日	時	分	系統1RS	系統1ST	系統1TR
					V	V	V
2010	4	30	0	0	79990	79990	79990
2010	4	30	0	1	79990	79990	79990
2010	4	30	0	2	79990	79990	79990
2010	4	30	0	3	79990	79990	79990

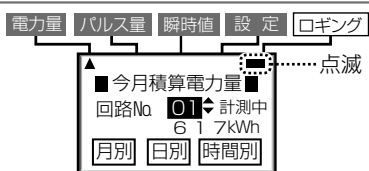
■瞬時値を見るには

- ・いったん計測を開始(41頁)すれば、常に確認することができます。
- ・瞬時値は自動で計測されますので、設定の必要はありません。



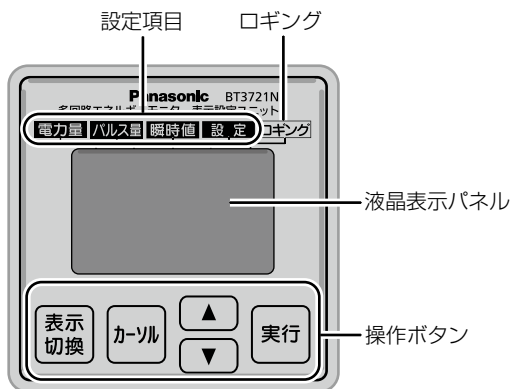
ご注意

- ・「ロギング」の■が点滅しているときは計測中です。



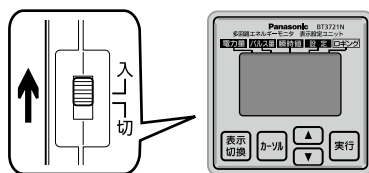
電力量の表示

「月別」、「日別」、「時間別」の電力量を表示します。



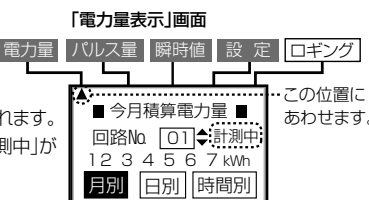
- ・「月別」、「日別」の電力量は、集計日時(44頁)で設定されている期間の値です。

1 表示設定ユニットの電源を入れる



2 「表示切換」を押して「電力量」にあわせる

- 「電力表示」画面が表示されます。
- 計測を開始していると「計測中」が表示されます。



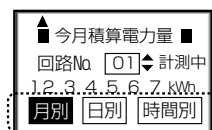
3 「アップ/ダウン」を押して「回路 No.」を指定する

- 各回路No.の今月度の電力量が確認できます。



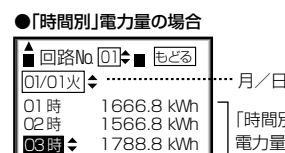
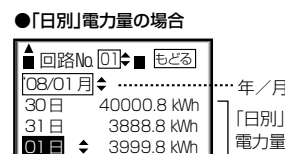
4 「カーソル」を押してデータの集計期間を選び、「実行」を押す

集計期間は、「月別」・「日別」・「時間別」から選びます。



5 「カーソル」を押して項目を選び、「アップ/ダウン」を押して設定する

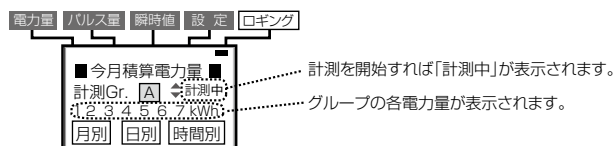
- ・「月別」電力量は最新3年分、「日別」電力量は最新1年分、「時間別」電力量は最新65日分のデータを確認することができます。
- ・集計日時を経過していない場合、「月別」電力量・「日別」電力量の電力量表示欄は「-----」と表示されます。



6 「カーソル」を押して「もどる」を選び、「実行」を押す

「電力量表示」画面に戻ります。

■グループ設定「有効」時の画面例(電力量)

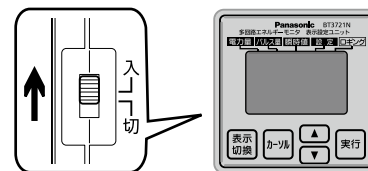


パルス量の表示

「月別」、「日別」、「時間別」のパルス量を表示します。

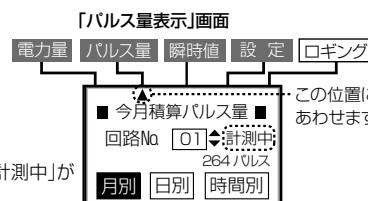
- ・「月別」、「日別」のパルス量は、集計日時(44頁)で設定されている期間の値です。

1 表示設定ユニットの電源を入れる



2 「表示切換」を押して「パルス量」にあわせる

- 「パルス量表示」画面が表示されます。
- 計測を開始していると「計測中」が表示されます。



2 「表示切換」を押して「パルス量」にあわせる

- 「パルス量表示」画面が表示されます。
- 計測を開始していると「計測中」が表示されます。

概要編

モニター
多回路エネルギー

データ編

エネルギー
S

商品編

デマンド
ウォッチャー

商品編

LAN
対応

商品編

電カメ
ター

商品編

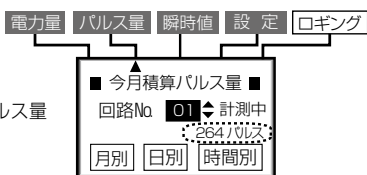
システム編

付録

4-1 表示設定ユニットの表示

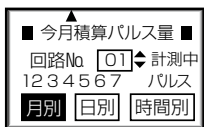
3 [アップ/ダウン]を押して「回路No.」を指定する

各回路No.の今月度のパルス量が確認できます。



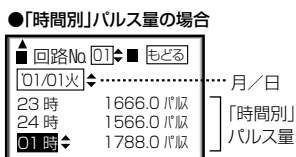
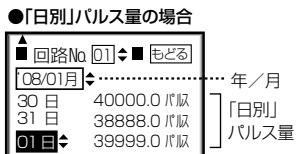
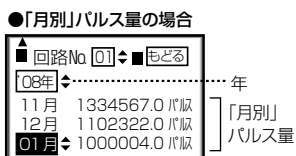
4 [カーソル]を押してデータの集計期間を選び、[実行]を押す

集計期間は、「月別」・「日別」・「時間別」から選びます。



5 [カーソル]を押して項目を選び、[アップ/ダウン]を押して設定する

・「月別」パルス量は最新3年分、「日別」パルス量は最新1年分、「時間別」パルス量は最新65日分のデータを確認することができます。
・集計日時を経過していない場合、「月別」パルス量・「日別」パルス量の表示欄は「-----」と表示されます。

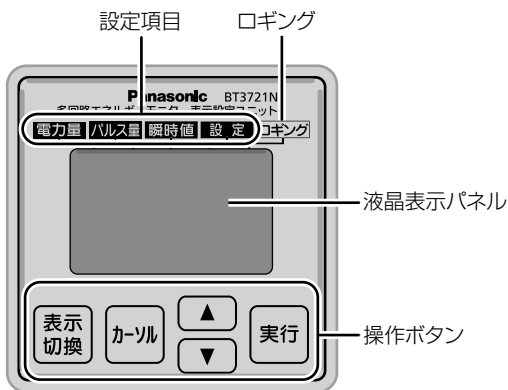


6 [カーソル]を押して「もどる」を選び、[実行]を押す

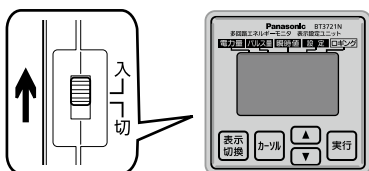
「パルス量表示」画面に戻ります。

瞬時値の表示

各回路No.の現在の値(電流・電圧・電力・力率)を見ることができます。
・表示更新間隔は「1秒」です。

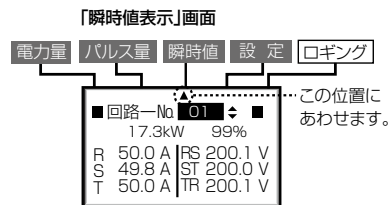


1 表示設定ユニットの電源を入れる



2 [表示切換]を押して「瞬時値」に合わせる

「瞬時値表示」画面が表示されます。



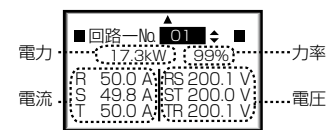
3 [アップ/ダウン]を押して「回路No.」を指定する

各回路No.の現在の値が確認できます。

●三相3線の場合

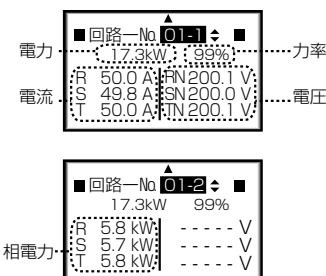
$$\text{力率} = \frac{\text{電力}}{\sqrt{3} \times (\text{各相の平均電圧}) \times (\text{各相の平均電流})}$$

・電流の表示は、単相3線/単相2線の場合、上から「R」「N」「T」と表示されます。
・電圧の表示は、単相3線/単相2線の場合、上から「RN」「RT」「TN」と表示されます。



●三相4線の場合

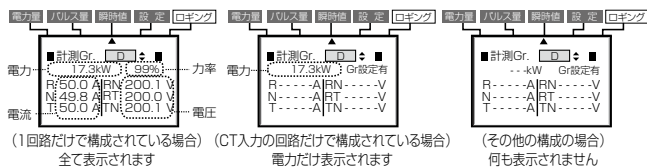
・表示画面は、1回路につき2画面で構成されます。[アップ/ダウン]を押すと、「回路No.」は「01-1」「01-2」、「02-1」「02-2」...と切り換わります。



ご注意

・逆潮流*する電力(マイナス電力)は測定できません。
この場合、電流が表示されていても測定電力値は0.0kWになります。
※太陽光発電などの分散電源により、負荷側から電源側方向に電流が流れること。

■グループ設定「有効」時の画面例(瞬時値)



概要編

多回路エネルギーモニター

データ編

エネルギー

商品編

デマンドウオッチャー

商品編

LAN対応ユニット

商品編

電力メーター

商品編

システム編

付録

4-2 動作確認済SDメモリーカード

利用可能なメモリーカードについて

エネルギーモニタシリーズで利用可能なSDHC/SDメモリーカードは、動作確認済のSDHC/SDメモリーカード(16~32GB)が対象です。

ご利用の際には、当社Webサイトより対応表をご確認ください。

注) UHS規格対応のSDHCメモリーカードも使用できますが、高速転送機能には対応していません。

エネルギーモニタ メモリーカード対応表

検索

<https://www2.panasonic.biz/ls/densetsu/denro/enemoni/sd.html>

(2021年4月現在)

SDメモリーカードのフォーマット方法

SDメモリーカードをフォーマットするときは、SDメモリーカード規格に準拠した最新の専用ソフトを下記のWebサイトからダウンロードして行ってください。

注) 一般に、パソコンに標準搭載されたソフトウェアでフォーマットしたSDメモリーカードのファイルシステムは、SDメモリーカード規格に準拠していません。

SDメモリーカードフォーマッター

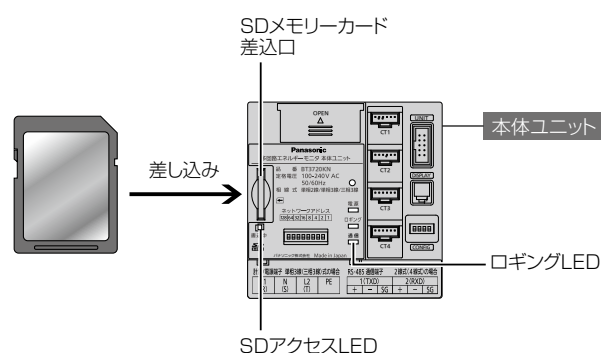
検索

<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

(2021年4月現在)

4-3 SDメモリーカードの使い方

SDメモリーカードの差し込み方/取り出し方



取り出すときは、SDアクセスLEDが点灯していない状態を確認してから指でカードを押してください。

- SDメモリーカードを差し込んだ直後は、機器内の保存データをSDメモリーカードに書き出します。
SDメモリーカードへの記録中は、SDアクセスLEDが点灯します。
書き込み完了すると、LEDは消灯します。

ご注意

- ・ロギングLEDが点滅しているときは、SDメモリーカードを差し込まないでください。
(差し込み中のデータが欠落します。)
- ・SDアクセスLEDが点灯しているときは、SDメモリーカードを取り出さないでください。
(データエラーの原因になります。)
- ・SDアクセスLEDが点滅しているときは、SDエラー(SDメモリーカードの空き容量不足、SDメモリーカード不良等)です。
- ・SDメモリーカードを装着したままで長時間測定・記録される場合には、SDエラーとなっていないか、または残容量があるかを定期的に点検してください。
- ・SDメモリーカードを差し込む(取り出す)とき若干抵抗を感じますが、カード飛び出し防止対策ですので製品機能上の問題はありません。

概要編

モニタ
多回路エネルギー

データ編

エネルギーS

商品編

デマンド
ウォッチャー

商品編

ユニット
LAN対応

商品編

電カメ
メーター

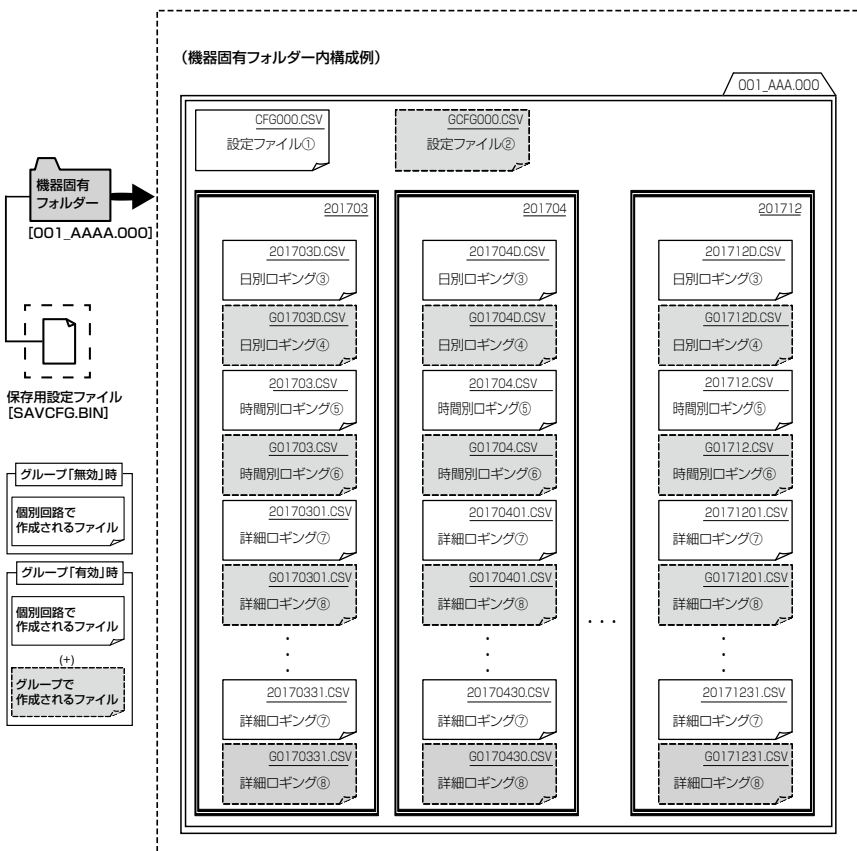
商品編

システム編

付録

4-4 データファイル

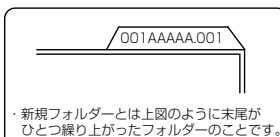
ファイル構成例



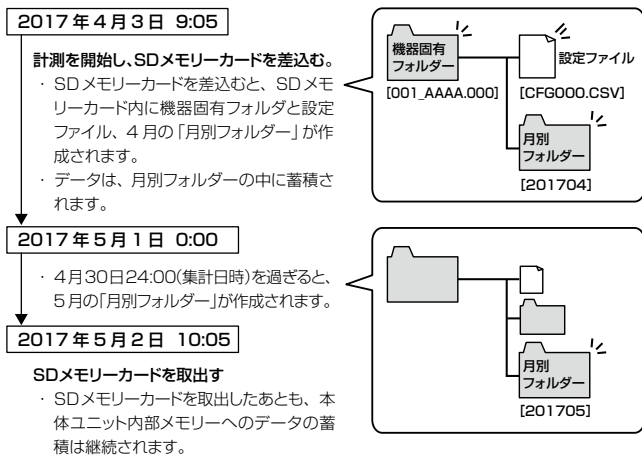
- フォルダーは機器固有のフォルダーと月別フォルダーの2階層で構成されます。
 - ・最上位フォルダーに、機器固有のフォルダーが作成されます。(例、001_AAAA.000)
 - 「001」:ネットワークアドレス(RS-485の通信アドレス)
 - 「AAAA」:シリアルNo. (34頁参照)
 - 「000」:SDメモリーカードに同じ番号のフォルダがあれば自動的にカウントアップされます。(最大999)
 - (001_AAAA.000が存在すると001_AAAA.001を作成します。)
 - ・設定保存機能(40頁参照)を使うと、最上位フォルダーに保存用設定ファイルが作成されます。(例、SAVCFG.BIN)
 - ※設定読み機能(43頁参照)を使うと、保存用設定ファイルが読み込めます。
 - ・機器固有のフォルダーに回路の設定ファイルが作成されます。(例、CFG000.CSV)
 - ・グループ設定「有効」時(39頁参照)はグループの設定ファイルも作成されます。(ファイル名の最初にGがつきます)(例、GCF000.CSV)
 - ・機器固有フォルダーに月別のフォルダーが作成されます。(例、201003など)
 - ・月別フォルダー毎に月単位の日別ロギング(例、201703D.CSVなど)月単位の時間別ロギング(例、201703.CSVなど)日単位の詳細ロギングデータファイル(例、20170301.CSV~20170331.CSVなど)を作成します。
 - ・グループ設定「有効」時(39頁参照)はグループのロギングファイルも作成されます。(ファイル名の最初にGがつきます)(例、G01703D.CSV、G01703.CSVなど)
- ロギングファイルのサイズは、構成や使用条件により変化します。データ容量の目安は1年分で約700 MBです。ただし、エラーとなっていないか定期的に点検してください。SDメモリーカードのエラー時(容量不足、カード不良時など)には、SDアクセスLEDが点滅します。
 (注)SDメモリーカード内のフォルダー、ファイル(両方含む)数によってはデータ書き込みできません。
 (SDメモリーカード2GB:512ヶ以上の場合 SDHCメモリーカード4~32GB:999ヶ以上の場合)
 →フォルダー・ファイル数を減らしてからSDメモリーカードを挿入してください。

ポイント

- 以下の条件時に新たなフォルダーが作成され、それ以降その新規フォルダー内にロギングデータが格納されます。
- ・ロギング中SDメモリーカードを挿入したとき。
 - ・ロギング中SDメモリーカードを挿入したまま電源を再投入(OFF⇒ON)したとき。
 - ・SDメモリーカードを挿入したまま計測開始したとき。

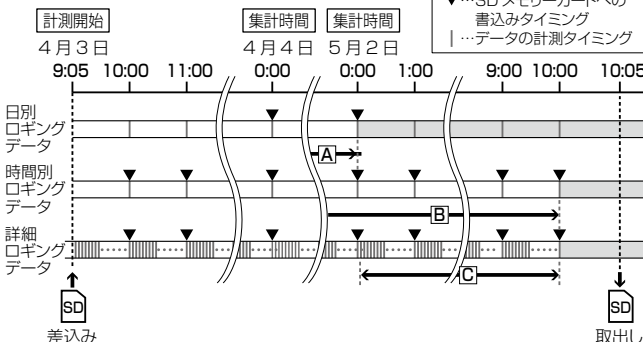


ファイル構成例(詳細説明)



- データ測定とSDメモリーカードへの書き込みの流れ
- ・各データの測定間隔とSDメモリーカードへの書き込みタイミングは右のとおりです。

データ	測定間隔	SDメモリーカードへの書き込み
日別ロギングデータ	1時間	1日ごと(集計時間)
時間別ロギングデータ	1時間	1時間ごと(正時)
詳細ロギングデータ	1分	1時間ごと(正時)

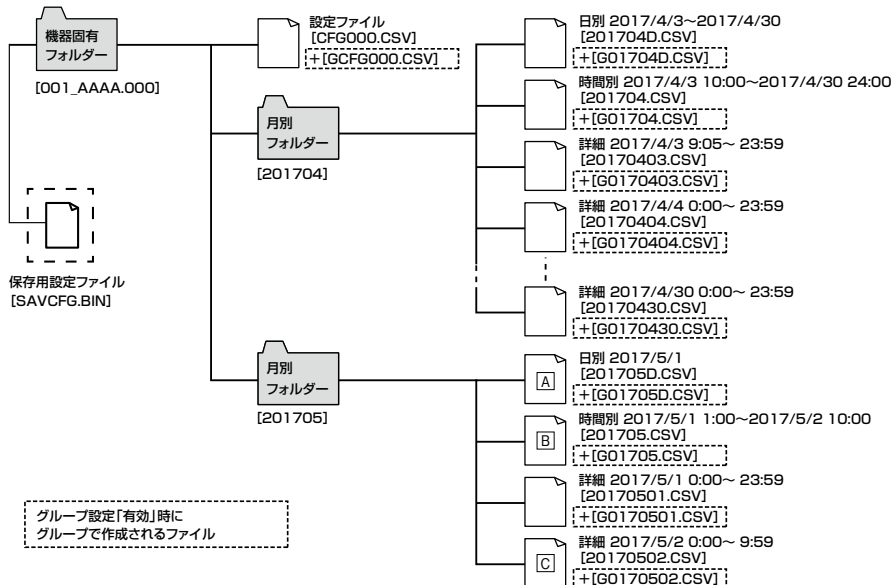


ご注意

- ・ [] 部分のデータは、SDメモリーカードへの最終書き込みタイミング以降のデータになるためSDメモリーカードには保存できません。
- ・ SDメモリーカードに保存されたデータの詳細(A、B、C)については、「ファイル構成例」(49頁)をご参照ください。

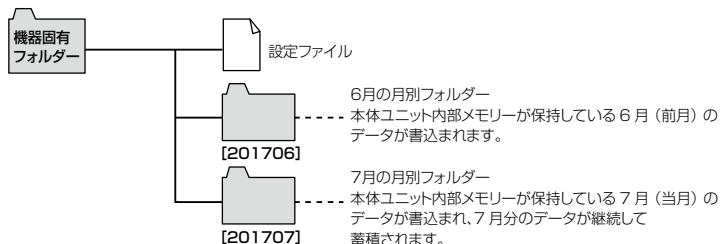
● SDメモリーカード内のファイル構成

それぞれのロギングデータファイルには、以下に示す期間のデータが収集されています。
ロギングデータファイル [A]、[B]、[C] の収集期間については、「ファイル構成例(詳細説明)」(48頁)をご参照ください。



- ・ 機器固有フォルダは、SDメモリーカードを差込むたびに作成されます。
- ・ SDメモリーカードを差込むと、当月と前月の月別フォルダが作成され、本体ユニット内部メモリが保持している当月分、前月分のデータが書込まれます。本体ユニット内部メモリにそれより前のデータが蓄積されていても、SDメモリーカードに書込むことはできません。

● 2017年4月に計測を開始し、2017年7月にSDメモリーカードを差込んだ場合



5月以前のデータは、月別フォルダが作成されないためSDメモリーカードに書込むことはできません。

ご注意

- ・ 本体ユニット内部メモリの詳細ロギングデータの保持期間は、24時間です。SDメモリーカードに収集するデータを欠落させないためには、取り出したSDメモリーカードを24時間以内に差込んでください。

設定ファイル

回路の設定ファイルが作成されます。<ファイル構成例の①(48頁参照)>

◆ 回路番号、相線式、PT比、回路情報(CT情報、パルス重み)を出力します。

回路番号	回路1	回路2	回路3	回路4	回路5	回路6	回路7	回路8
相線式	三相3線		三相3線	三相3線	三相3線	三相3線	三相3線	三相3線
PT比	1		1	1	√3	√3	√3	√3
回路情報	未設定	PI 0.1	C50 A	C100 A	C400 A	C600 A	B30 A	C/5 A

回路9R	回路9T	回路10R	回路10T	回路11R	回路11T	回路12R	回路12T
单相2線	单相2線	单相2線	单相2線	单相2線	单相2線		
4	4	4	4	4	4		
C/5 A	C/50 A	W50 A	W50 A	W/5 A	W/5 A	PI0.1	

回路13R	回路13T	回路14R	回路14T	回路15R	回路15T	回路16R	回路16T
单相2線	单相2線	单相2線	单相2線	单相2線	单相2線	单相2線	单相2線
1	1	1	1	1	1	1	1
未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定

グループ設定「有効」時には、グループの設定ファイルも作成されます。<ファイル構成例の②(48頁参照)>

◆ グループ番号、グループの演算式を出力します。

グループ番号	グループA	グループB	グループC	グループD	グループE	グループP
グループ情報	+02	+03	+03+04	+06+07-08	+09R+10R	+02-12R

【グループ番号】

・ グループごとに「グループA」～「グループP」を出力します。

【グループ情報】

- ・ グループごとにグループの演算式の設定を出力します。
- ・ 相線式が单相2線設定でかつCT設定の回路は「回路番号」+「R(またはT)」のように表示します。
- ・ グループ情報が未設定のとき「空白」を出力します。

【回路番号】

- ・ 回路ごとに「回路1」～「回路16」を出力しますが、相線式が单相2線設定の回路は「回路番号」+「R(またはT)」のように出力します。

【相線式】

- ・ 回路ごとに相線式の設定を出力します。「三相3線」「单相3線」「单相2線」「三相4線」「未設定」
- ・ 回路設定がパルス設定の時は「空白」を出力します。

【PT比】

- ・ 回路ごとにPT比の設定を出力します。「1」「√3」「2」「4」…「700」「未設定」
- ・ 回路設定がパルス設定の時は「空白」を出力します。

【回路情報】

- 1) 回路設定がCT設定のとき
 - 標準CT設定のとき
 - ・ 「C」と定格容量を出力します。
(例) [C50 A][C100 A]…[C600 A]
 - ・ 5 ACT設定のときは「C」と定格容量を出力します。
(例) [C/5 A]
 - ・ CT内蔵プレーカのときは「B」と定格容量を出力します。
(例) [B30 A]
 - BT3705WH CT設定のとき
 - ・ /5 ACT設定のときは「W」と定格容量を出力します。
(例) [W/5 A]
- 2) 回路設定がパルス設定のとき
 - ・ 「PI」とパルスの重みを出力します。
(例) [PI 0.1]…[PI 6553.5]
 - ・ 相線式が单相2線設定のときはR側に出力します。
- 3) 回路設定が未設定のとき
 - ・ 「未設定」を出力します。

概要編

モニター
多回路エネルギー

データ編

エネルギー
S

商品編

デマンド
ウォッチャー

商品編

LAN
対応

商品編

電カメ
ター

商品編

システム編

付録

4-4 データファイル

日別ロギング

回路の日別ロギングファイルが作成されます。<ファイル構成例の③(48頁参照)>

◆回路番号、単位、ロギングデータ(年月日とデータ)を出力します。

【参照:「計測値 分解能一覧表(161頁)」】

(49頁記載の設定ファイルの設定状態での出力ファイル例)

年	月	日	回路1	回路2	回路3	回路4	回路5	回路6	回路7	回路8
				パルス	kWh	kWh	kWh	kWh	kWh	kWh
2017	4	1		9999999.9	99999990	99999990	99999990	99999990	99999990	99999990
2017	4	2		9999999.9	99999990	99999990	99999990	99999990	99999990	99999990
2017	4	3		9999999.9	99999990	99999990	99999990	99999990	99999990	99999990

回路9R	回路9T	回路10R	回路10T	回路11R	回路11T	回路12R	回路12T
kWh	kWh	kWh	kWh	kWh	kWh	パルス	
99999990	99999990	99999990	99999990	99999990	99999990	9999999.9	
99999990	99999990	99999990	99999990	99999990	99999990	9999999.9	
99999990	99999990	99999990	99999990	99999990	99999990	9999999.9	

回路13R	回路13T	回路14R	回路14T	回路15R	回路15T	回路16R	回路16T

グループ設定「有効」時には、グループの日別ロギングファイルも作成されます。

<ファイル構成例の④(48頁参照)>

◆グループ番号、単位、ロギングデータ(年月日とデータ)を出力します。

年	月	日	グループA	グループB	グループC	グループD	グループE	グループP
			パルス	kWh	kWh	kWh	kWh	パルス
2017	4	1	9999999.9	99999990	99999990	99999990	99999990	9999999.9
2017	4	2	9999999.9	99999990	99999990	99999990	99999990	9999999.9
2017	4	3	9999999.9	99999990	99999990	99999990	99999990	9999999.9

時間別ロギング

回路の時間別ロギングファイルが作成されます。<ファイル構成例の⑤(48頁参照)>

◆回路番号、単位、ロギングデータ(年月日時とデータ)を出力します。

【参照:「計測値 分解能一覧表(161頁)」】

(49頁記載の設定ファイルの設定状態での出力ファイル例)

年	月	日	時	回路1	回路2	回路3	回路4	回路5	回路6	回路7	回路8
					パルス	kWh	kWh	kWh	kWh	kWh	kWh
2017	4	1	1		99999.9	327650	327650	327650	327650	327650	327650
2017	4	1	2		99999.9	327650	327650	327650	327650	327650	327650
2017	4	1	3		99999.9	327650	327650	327650	327650	327650	327650

回路9R	回路9T	回路10R	回路10T	回路11R	回路11T	回路12R	回路12T
kWh	kWh	kWh	kWh	kWh	kWh	パルス	
327650	327650	327650	327650	327650	327650	99999.9	
327650	327650	327650	327650	327650	327650	99999.9	
327650	327650	327650	327650	327650	327650	99999.9	

回路13R	回路13T	回路14R	回路14T	回路15R	回路15T	回路16R	回路16T

グループ設定「有効」時には、グループの日別ロギングファイルも作成されます。

<ファイル構成例の⑥(48頁参照)>

◆グループ番号、単位、ロギングデータ(年月日時とデータ)を出力します。

年	月	日	時	グループA	グループB	グループC	グループD	グループE	グループP
				パルス	kWh	kWh	kWh	kWh	パルス
2017	4	1	1	99999.9	327650	327650	327650	327650	99999.9
2017	4	1	2	99999.9	327650	327650	327650	327650	99999.9
2017	4	1	3	99999.9	327650	327650	327650	327650	99999.9

【回路番号】

- ・「回路1」～「回路16」を出力しますが、相線式が単相2線設定の回路は「回路番号」+「R(またはT)」のように出力します。

【単位】

- ・回路ごとの単位を出力します。
 - 1) 回路設定がCT設定のとき、「kWh」を出力します。
 - 2) 回路設定がパルス設定のとき、パルスの単位に応じた内容出力します。
「パルス」「kg」「kWh」「Wh」「m³」「cal」「kcal」「L」「kL」「J」「円」
- ・相線式が単相2線設定のときはR側に出力します。
- 3) 回路設定が未設定のとき、「空白」を出力します。

【ロギングデータ】

- ・回路設定が未設定のときは「空白」を出力します。
- ・データがないときは「空白」を出力します。
- ・相線式が単相2線設定であり、回路設定がパルス設定のときはR側に出力します。

【グループ番号】

- ・「グループA」～「グループP」を出力します。

【単位】

- ・グループごとの単位を出力します。
 - 1) CT設定あるいはパルス設定(単位:kWh)の回路が登録されているとき、「kWh」を出力します。
 - 2) パルス設定(単位:kWh以外)の回路が登録されているとき、パルスの単位に応じた内容出力します。
「パルス」「kg」「Wh」「m³」「cal」「kcal」「L」「kL」「J」「円」
 - 3) グループ設定が未設定のときは「空白」を出力します。

【ロギングデータ】

- ・グループ設定が未設定のときは「空白」を出力します。
- ・データがないときは「空白」を出力します。

【回路番号】

- ・「回路1」～「回路16」を出力しますが、相線式が単相2線設定の回路は「回路番号」+「R(またはT)」のように出力します。

【単位】

- ・回路ごとの単位を出力します。
 - 1) 回路設定がCT設定のとき、「kWh」を出力します。
 - 2) 回路設定がパルス設定のとき、パルスの単位に応じた内容出力します。
「パルス」「kg」「kWh」「Wh」「m³」「cal」「kcal」「L」「kL」「J」「円」
- ・相線式が単相2線設定のときはR側に出力します。
- 3) 回路設定が未設定のとき、「空白」を出力します。

【ロギングデータ】

- ・回路設定が未設定のときは「空白」を出力します。
- ・データがないときは「空白」を出力します。
- ・相線式が単相2線設定であり、CT情報がパルス設定のときはR側に出力します。

【グループ番号】

- ・グループごとに「グループA」～「グループP」を出力します。

【単位】

- ・グループごとの単位を出力します。
 - 1) CT設定あるいはパルス設定(単位:kWh)の回路が登録されているとき、「kWh」を出力します。
 - 2) パルス設定(単位:kWh以外)の回路が登録されているとき、パルスの単位に応じた内容出力します。
「パルス」「kg」「Wh」「m³」「cal」「kcal」「L」「kL」「J」「円」
 - 3) グループ設定が未設定のときは「空白」を出力します。

【ロギングデータ】

- ・グループ設定が未設定のときは「空白」を出力します。
- ・データがないときは「空白」を出力します。

詳細ロギング

回路の詳細ロギングファイルが作成されます。<ファイル構成例の㉑(48頁参照)>

- ◆回路番号、単位、ロギングデータ(年月日時分とデータ)を出力します。
◆電圧、電流、電力、電力量の順に出力します。【参照:「計測値 分解能一覧表(161頁)】(49頁記載の設定ファイルの設定状態での出力ファイル例)

Table with columns: 年, 月, 日, 時, 分, 系統1RS, 系統1ST, 系統1TR, 系統2RS, 系統2ST, 系統2TR, 系統3RN, 系統3RT, 系統3TN, 系統4RN, 系統4RT, 系統4TN

Table showing current data (電流) for systems 1R, 1S, 1T, 3R, 3S, 3T, 5R, 5N, 5T. Units: A.

Table showing current data (電流) for systems 9R, 9T, 12R, 12T, 16T. Units: A.

Table showing power data (電力) for systems 1, 3, 9R, 9T, 12R, 12T, 16R. Units: kW.

Table showing energy data (電力量) for systems 1, 2, 9R, 9T, 12R, 12T, 13R, 13T, 16T. Units: kWh, kWh, 瓦時.

ご注意

詳細ロギングで「(各)分」に格納されるデータ(電圧・電流・電力)は多回路エネルギーモニタ設定時刻(△△分〇(ゼロ)秒)時の瞬時値です。

【単位】

- 計測内容ごとの単位を出力します。電圧は「V」を出力します。電流は「A」を出力します。電力は「kW」を出力します。電力量は 1) 回路設定がCT設定のとき、「kWh」を出力します。 2) 回路設定がワルズ設定のとき、ワルズの単位に応じた内容を出力します。

【ロギングデータ】

- 相線式とPT比のどちらかが未設定のとき、電圧には「空白」を出力します。回路設定が未設定のとき、電流、電力、電力量には「空白」を出力します。

グループ設定「有効」時には、グループの詳細ロギングファイルも作成されます。

<ファイル構成例の㉒(48頁参照)>

- ◆グループ番号、単位、ロギングデータ(年月日時分とデータ)を出力します。
◆電圧、電流、電力、電力量の順に出力します。
◆グループがCT設定の1回路だけで構成された場合は、電流、電力、電力量を出力します。
◆グループがCT設定の回路だけで構成された場合は、電力、電力量を出力します。
◆その他の構成は、電力量だけを出力します。

Table with columns: 年, 月, 日, 時, 分, 系統1RS, 系統1ST, 系統1TR, 系統2RS, 系統2ST, 系統2TR, 系統3RN, 系統3RT, 系統3TN, 系統4RN, 系統4RT, 系統4TN

Table showing current data (電流) for systems A, B, C, D, E, G, H, I, J, P. Units: A.

Table showing power data (電力) for systems A, B, C, D, E, G, H, I, J, P. Units: kW.

Table showing energy data (電力量) for systems A, B, C, D, E, G, H, I, J, P. Units: kWh, kWh, kWh, 瓦時.

【単位】

- 計測内容ごとの単位を出力します。電圧は「V」を出力します。電流は「A」を出力します。電力は「kW」を出力します。電力量は グループごとの単位を出力します。(「kWh」「ワルズ」「kg」「Wh」「m³」「cal」「kcal」「L」「kJ」「J」「円」)

【ロギングデータ】

- グループ設定が未設定のとき、電流、電力、電力量には「空白」を出力します。CT設定の回路が複数登録されているとき、電流には「空白」を出力します。

概要編

多回路エネルギーモニタ

データ編

エネルギー

商品編

デマンドウォッチャー

商品編

LAN対応ユニット

商品編

電カメーター

商品編

システム編

付録